

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	訪問指導事業	所管	保健福祉部 母子保健課
			TEL 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	妊娠中及び出産後早期に訪問指導を行うことによって、親の孤立感や育児不安の軽減、児童虐待防止に繋げることができる。その結果、母子の健全育成を図ることができる。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	妊婦、産婦、新生児、乳児を対象とする。対象数は(母親+子ども)とした。	対象とした数	5,956	人
		実際に 利用した数	1,563	人

活動の内容	(何を したか)	出生連絡票や電話による訪問希望のある者。他市区町村からの訪問依頼。ハイリスクにより医療機関から継続支援依頼の連絡があった者。養育医療受給者(平成19年度より埼玉県から権限委譲された未熟児訪問指導の対象者)、に対して保健師及び助産師が家庭訪問を行う。 内容としては、発育・発達状態の確認、一般状態の観察と必要な保健指導を行うとともに、母親の産後の状況を確認し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行う。また、母親の産後うつ病の早期発見や児童虐待防止のため質問紙を用いて、母親のメンタルヘルスに対する支援を行う。											
		活動実績	項目名	訪問対象数	5956		項目名	訪問指導件数	1563		項目名		
			-----	人			-----	人				-----	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,000	2,350	11,744	34.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	訪問指導実施率	訪問世帯数 ÷ 訪問対象世帯数 × 100	100	26.2	26.2
			-----	-----	-----
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []					
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止	
	予算	現状どおり		* 増額		減額 終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了						
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了					
		予算	現状どおり		* 増額		減額 終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当課	部課コード	040800	画	2991-1811
事業コード	訪問指導事業	担当課	保健福祉部 母子保健課			
040814		グループ	母子保健グループ			
開始年度	平成 7 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			母子保健法					
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱	(2)子育て支援事業の推進	
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位			・実施計画における位置づけ…			H19	A	H20
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
	コード	1111			市民の知りたい情報の提供	コード				
	事業開始の背景	少子化、核家族化の社会背景の中で、母親の育児不安に早期に対応するために平成7年から開始した。今日では児童虐待防止が母子保健における大きな課題となっている。また、若年及び高齢、精神的な問題を抱えたり、DVや虐待被害のある母親への支援、未熟児を産出した母親への心理的サポート等、ニーズも複雑化しており、妊娠中、また出産後早期の対応が求められている。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	妊娠中及び出産後早期に訪問指導を行うことによって、親の孤立感や育児不安の軽減、児童虐待防止に繋げることができる。その結果、母子の健全育成を図ることができる。														
	対象(誰を、何を対象としているのか)	妊婦、産婦、新生児、乳児を対象とする。対象数は(母親+子ども)とした。			利用数の考え方 訪問指導件数。											
	対象数	単位	平成 18 年度	6,124	人	平成 19 年度	5,956	人	利用数	単位	平成 18 年度	1,355	人	平成 19 年度	1,563	人
	事業の具体的な内容及び実施方法															
	出生連絡票や電話による訪問希望のある者。他市区町村からの訪問依頼。ハイリスクにより医療機関から継続支援依頼の連絡があった者。養育医療受給者(平成19年度より埼玉県から権限委譲された未熟児訪問指導の対象者)、に対して保健師及び助産師が家庭訪問を行う。内容としては、発育・発達状態の確認、一般状態の観察と必要な保健指導を行うとともに、母親の産後の状況を把握し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行う。また、母親の産後うつ病の早期発見や児童虐待防止のため質問紙を用いて、母親のメンタルヘルスに対する支援を行う。															

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫								
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点	平成20年度から「生後4ヶ月までの全戸訪問事業」を実施することとなり、今現在行っている訪問指導事業を含め、訪問事業の内容について検討した。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		1,800	2,000	2,600	
	決算(見込み含む)		2,020	2,350		
	(嘱託職員)	(臨時職員)	(人)	(2.00人)	(人)	(2.00人)
	正規職員人件費		人	9,200	人	9,394
	公費費					
	事業費合計		11,220	11,744		
	財源内訳	一般財源		11,220	11,744	2,600
	国・県支出金					
	受益者負担金					
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		33.2	34.6		
	利用数一単位あたり(単位:円)		8,280.4	7,513.8		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	訪問対象数	出生数×2	人	6,124	5,956	6,000
		訪問指導件数	訪問指導した件数	人	1,355	1,563	1,700
	成果分析	訪問指導実施率	訪問世帯数÷訪問対象世帯数×100	%	目標値 100	実績 21.4	26.2
			%	達成率	21.4	26.2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要性なし	実施主体	現在の実施主体 <input type="checkbox"/> 見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	平成20年度より、生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問するため、新生児訪問等がより重要となる。そのため、本事業の周知を強化し利用者の増加を図る必要がある。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	今年度からスタートした、生後4か月までの全戸訪問事業の円滑な実施に努めていく。	訪問受け入れ世帯に対する可能な限りの訪問	平成21年3月	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	核家族化や近隣との関係が希薄な社会状況の中で、妊娠中や出産直後は一層地域から孤立する時期である。この時期に、育児不安に対応することによって、母子の健全育成、児童虐待防止に繋がる。また、母子保健分野における国民運動計画である「健やか親子21」の施策の1つである「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」にも繋がる。			
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	母子保健課長 小林 昌治	

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
⑨評価	見込まれる貢献度	総合計上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	妊産婦及び乳幼児にとって当該時期は精神的・身体的に大変重要な時期であり、また、市長マニフェストにおいても子育ては大きなテーマであることから、本事業は積極的に進めるものである。今年度より実施している「こんには赤ちゃん事業」での全戸訪問の実現や、従来取り組んでいる訪問指導の実施率向上を目指し、特に当該訪問等の受入を拒否する者への継続的な呼びかけ等本目録やかなに対応に努められたい。				
評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1221
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり		
施策の方向	2母子保健事業の推進			